



## Press Information

VPR21-052

2021年12月10日(金)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

### 新型『Golf』『Golf Variant』が“2021-2022 インポート・カー・オブ・ザ・イヤー”を受賞



(画像提供元: 日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役: マティアス シェーパース、本社: 愛知県豊橋市、略称: VGJ)が、本年 6 月より導入した新型『Golf(ゴルフ)』、本年 7 月より導入した新型『Golf Variant(ゴルフ ヴァリアント)』が第 42 回日本カー・オブ・ザ・イヤー(日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会主催)において、“2021-2022 インポート・カー・オブ・ザ・イヤー”を受賞しました。

今回の受賞理由は、「ハッチバック／ヴァリアントともに、優れたパッケージングやパワートレイン、走行性能は歴代ゴルフからの伝統で、今なおこのクラスのベンチマークといえる。新たに導入された 48V マイルドハイブリッドの 1L 3 気筒 eTSI エンジンは、小排気量とは思えない力強い走りが評価された。全体的なバランスの良さ、総合力の高さを評価した。」と評価されての受賞となりました。

新型『Golf』『Golf Variant』は「デジタル化」「電動化」「ドライバーアシスタンスシステム」において大幅な進化を遂げました。「デジタル化」においてはクラスを超えたデジタルインターフェースを採用し、「電動化」においては、48V マイルドハイブリッドシステムを採用し、モーターのアシストによってスムーズな発進や加速を実現しています。また、運転支援システムにおいても、同一車線内全車速運転支援システム“Travel Assist”などの最新テクノロジーが採用され、クラスを超えたハイレベルなドライバーアシストが可能となり、安全性をさらに高めています。

日本カー・オブ・ザ・イヤー公式サイトはこちら。<http://www.jcoty.org/>